

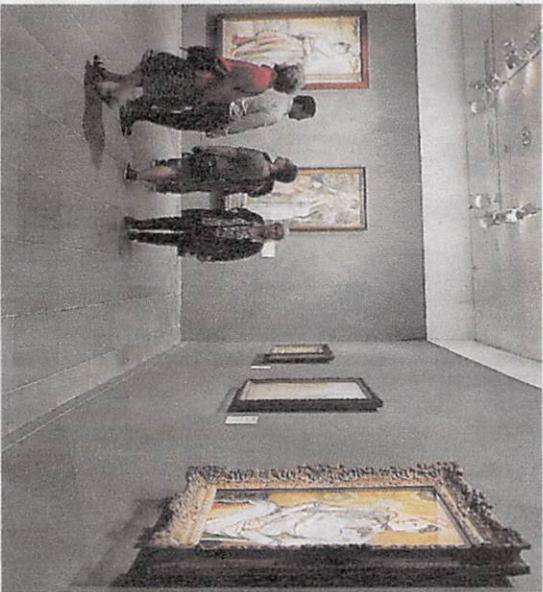
☒bunka@asahi.com

月曜～土曜掲載

# 里帰りした 西洋の名画

# パリ魅了

# 日本の洋画



会場の序盤に、明治～昭和時代の日本の洋画が並ぶ＝オランダ・ジュリエー美術館



青木繁「海の幸」  
(石橋財団フリエー美術館蔵)

## オランダ・ジュリエー美術館「ブリヂストン美術展」

モネやルノワールが印象派のコクシヨんで知られ、世界中から観客が訪れるパリのオランダ・ジュリエー美術館でいま、ブリヂストン美術館(東京)所蔵品計76点を並べた企画展が開催されている。「里帰り」となる西洋の名画や、西洋の影響を受けた日本の近代洋画などを見よと、2カ月半で約21万5千人が訪れている。

## 観客 日本的な要素に着目

「ブリヂストン美術館の印象派などの名画だけでなく、近代の日本の画家が描かれた人々が描かれている。画面に残る下描きの線もあいて西洋絵画に影響されて描いた。洋画も展示することだ、油絵の「洋画」も、9点展さされている。最初のコクシヨンが、海外のコクシヨンに表現した。オランダ・ジュリエー美術館の「海の幸」(1904年、重要文化財)。線を終えたのか、巨大な魚を担いで歩

三浦教授は、ドイツで開催された日本にあるこうした絵画と洋画を紹介する展覧会を監修した経験もある。今展のよつば機会を通じて、古美術やサカルチャ

「海の幸」(丸ひかり)を期待すること。文化へも関心が広まることを期待すること。

「海の幸」(丸ひかり)を期待すること。文化へも関心が広まることを期待すること。

「海の幸」(丸ひかり)を期待すること。文化へも関心が広まることを期待すること。

「海の幸」(丸ひかり)を期待すること。文化へも関心が広まることを期待すること。

「海の幸」(丸ひかり)を期待すること。文化へも関心が広まることを期待すること。

「海の幸」(丸ひかり)を期待すること。文化へも関心が広まることを期待すること。